

令和7年度 学校経営方針

北九州市立曾根小学校 校長 長畑 潤

【本年度の重点目標】

教育の不易と流行のバランスを取りながら、2学期制に伴う新しい学校生活の確立を図る。挑戦し続ける個を伸ばし、集団として成長を実感できる楽しい学校の創造 共感的に丁寧な指導のできる教職員（全員でほめてのぼそう）・チーム曾根小の一員として「私にできることはありませんか？」のもう一言の精神を皆さんがもって学校運営に参画をしましょう！！

「学び」の転換～子ども主体の学びを目指して～「探究的な学び」
の中で育成する。4－3－2制9年間の活動プランの作成

- ・ 5、6年生の教科担任制の推進・北九州市型外国語教育の実施
- ・ 保幼小連携・接続の推進 ・長期欠席・不登校対策の充実
- ・ 全ての子どもを対象とした特別支援教育の充実・人材育成の充実

④ 学校教育目標「広い心と健やかな体、及び豊かな創造力をもち、自律と公共の精神に支えられた人間性豊かな子どもの育成」

① 【目指す子ども像】

- | | | |
|---|---------|-----------|
| ⑦ | 創造力豊かに | 【考える子】 |
| ⑧ | 熱心に | 【はたらく子】 |
| ⑨ | 強い意志をもつ | 【がんばる子】 |
| ⑩ | 根気強く | 【あきらめない子】 |

【目指す学校像・教職員像】

子どもの力が伸びる学校

信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ① 子どもが主役となる学校 | ○ 自分の仕事に情熱と使命感をもつ教師 |
| ② 子どもが価値を感じる学校 | ○ 子どもと共に感動し、共に汗を流し、きびきびと行動する教師 |
| ③ 確かな信頼で結ばれた学校 | ○ 子どもに「価値」を教える教師 |
| ④ 保護者や地域に開かれた学校 | ○ 子どもの心に寄り添い、温かい言葉をかける教師 |
| ⑤ 教師集団が学び合う学校 | ○ 互いに研鑽し合い、専門職としての資質の向上を目指す教師 |

- 「報告」・「連絡」・「相談」・「確認」・「記録」「一つ上の対応」の徹底 組織で対応する教職員
【学校中が笑顔（愉しさ）一杯の曾根小学校をつくろう！！】

(F) 【具体的な子ども像】 ～凡事徹底～

- | | |
|----------|---|
| 広い心 | ◎協力して仕事をする
○誰とでも仲良くする |
| 健やかな体 | ◎運動に親しむ
○望ましい食生活を実行
○健康や安全に気を付ける |
| 豊かな創造力 | ◎意欲的に学ぶ
○家庭学習に取り組む
○本に親しむ |
| 自律と公共の精神 | ◎廊下を走らない
◎気持ちのよい挨拶をする
◎適切な言葉づかいをする
○黙って掃除をする
○時間を守る |

考えて、行動する子（年間を通して）

⑥【学校教育目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり）
- ② 地域に開かれた学校（学習参観、開放週間、学校評価等）
- ③ 家庭との連携の充実（日々の電話連絡、家庭訪問、学級懇談会、教育相談、個人懇談会やPTA活動等への協力と参加）
- ④ 地域の教育資源や教育力の有効活用（生活科、社会科、総合）
- ⑤ 地域と連携した防災・減災教育の実施
- ⑥ 家庭や地域と連携した安全の確保（見守り隊、ブックヘルパー、登下校安全指導、tetoruの活用）
- ⑦ 情報の発信（学校ホームページの更新 情報・写真の提供、学校だより、学年・学級だより 家庭訪問等）

⑧【教育活動の充実と規律ある学校生活づくり】

- ① **子どもの心の居場所づくり**（担任、学年主任、生徒指導主任、養護教諭、等による密接な連携と取組）
- ② **生徒指導体制の充実**（共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識（サシスセソ）の高揚と問題事象への緊急対応）
- ③ **清掃指導と給食指導の充実**（子どもと心の交流の場）**放送の工夫**
- ④ **小中一貫教育の充実**（曾根中、曾根東小と9年間活動プラン）
- ⑤ **学習機会の拡充と学習内容の定着**（意欲的に取り組む家庭学習の工夫、補充・発展学習の工夫）、**全国学調、CRT実施**
- ⑥ **時代の変化に対応する資質と能力の育成**（1，2年生も外国語活動、外国語科、情報処理、主体的・能動的学習の育成）

①【授業力向上と職員のチームワークづくり】

- ① 全校体制で策定・実施・検証・改善のできるスクールプランの作成と推進
- ② 主題研究の推進（教科を絞らず、全員で取り組む）
- ③ 職員研修の充実（事務改善会議、体罰、飲酒運転、セクハラ等不祥事防止、業務改善研修、LGBT（Q）の研修、理科、音楽科、体育科、図画工作科、外国語科の専科指導の活用）
- ④ ワークライフバランスを大切にした職場（18時退勤を目標に）
- ⑤ 確かな成長を実感できる研修の充実（人材育成の研修）
・学年会の設定
・若年研修の充実（教職経験6年未満）
- ⑥ 実践のまとめをし、研究の成果と課題の確認
（次はどう生かすかPDCAサイクルの徹底）

⑤＜道德教育＞（「特別な教科道德」の全面実施 8年目）

- 思いやりの心を育む教育の充実（教科書・ノートの効果的な活用等）
- 自律性・自尊感情を育てる指導の充実（成果や頑張りをほめる）
- ＜教科指導＞
- 学年相応の基礎的・基本的な内容の習得と思考・判断・表現力
- 問題解決的な学習と生きる力の基盤となる「言語活動」の充実
- ＜特別活動＞
- 学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視）
- 子ども同士が触れ合う集会活動の充実
- ＜外国語活動・外国語科＞ 1, 2年生英語大好きタイム 1年生、年間8時間、2年生、年間12時間も含めた英語教育の充実、推進
- コミュニケーション活動の楽しさ、専科と外国人ALTの効果的な活用
- ＜総合的な学習の時間＞OSDSの視点を踏まえた曽根小学校のプランを模索し、探究的な学習に取り組む（各学年のカリキュラム見直し）
- ＜健康・保健・安全教育＞
- 発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底

⑨＜食育＞○給食指導、学級活動を中心に望ましい食習慣の形成

- ＜生徒指導＞ 問題行動の早期発見と早期対応を基盤に
（ピンチをしのいでチャンスに！組織で対応）（チームとしての学校）
○関連機関との連携及び、いじめ防止対策・不登校対応
○異学年通級教室、教育・就学相談の充実（管理職、特別支援コーディネーター、生徒指導主任、学年主任、担任等）
＜人権教育＞ 教育活動の基盤とし、全教育活動の中で
○学校や地域の実態をふまえた人権意識の高揚を図る
○人権感覚の育成に向けた指導内容の工夫（新版いのちの活用）
＜特別支援教育＞すまいる・たんぽぽ学級を中心に据えて
○特別支援学級と連携し、自立活動を参考に適切な指導・支援を
○校内支援体制と情報の共有化
＜防災・減災教育＞（避難訓練の確実な実施）
○様々な自然災害、不審者侵入を想定し、災害や事件発生時の適切な行動がとれる児童の育成

(1)

- ＜キャリア教育＞「夢事業の活用・発展」総合での位置づけ
- 体験を通して、勤労観や職業観を育てる指導の工夫
- ＜学校図書館教育＞学校図書館職員の活用（図書館の充実）
- 読書・学習・情報センターとしての環境整備、蔵書購入と点検
- ＜環境教育＞
- 身近な環境問題に着目し豊かな感受性を育てる
- ＜SDG s の視点を踏まえてシビックプライドの醸成＞
- ＜情報教育＞GIGA スクール構想の推進
(タブレット端末を活用しながらプログラミング教育の構築)
- 情報活用能力の育成 ○情報モラルの指導の徹底
- ICT機器を活用した指導の工夫（ドリルアプリの導入と活用）
- ＜国際理解教育＞
- 異文化・自文化の理解と尊重を目的とした体験的な活動の充実
- 各教科、総合、外国語科等と関連性（外国人ALTの活用木本金）